

大雄小園芸部員 **育てた野菜を調理** 保護者に振る舞う



横手市の大雄小学校園芸部員が収穫した野菜を調理して保護者に振る舞う「グルメ大作戦」が、市園芸振興拠点センター（同市大雄）で開かれた。栽培したトマトで作ったミートソースパスタなどを家族で味わい、「おいしいね」と笑顔を見せた。

2022年に創設された園芸部は「大雄っこ園芸部」として活動し、学校近くの市園芸振興拠点センターの畑やハウスを活用して農業を学んでいる。活動の成果を

披露する「グルメ大作戦」は10日、昨年が続いて実施した。

4～6年生の部員14人がセンターで栽培したトマト、収穫体験をしたタマネギなどを用いて調理。パスタのほか、サラダと野菜スープ、デザートとしてスイカを振る舞った。

料理を食べた保護者が「新鮮で味が濃い」「（児童が手作りした）ドレッシングがおいしい。家でも作ってほしいぐらい」などと感想を述べ、児童はうれしそうにしていた。

6年の村岡柚果さんは「みんな笑顔で食べてくれて本当に良かった」とほっとした表情。母の麻希子さん(45)は「園芸部に入ってから家庭菜園でもアドバイスしてくれる。苦手だった野菜も興味を持って食べるようになってうれしい」と話した。(佐藤悠大)